

1 議会を与野党の戦いの場ではなく是々非々での議論の場にする

現在の都議会は知事与党と呼ばれる議員が過半数を超えています。

そのため、与党の発言は予定調和になっており、野党の発言は行政批判に終始しているように見えます。これでは都民のための議会とは言えず、与野党の戦いの場でしかないと感じます。議会は是々非々での議論の場であるべきと考え、そのよう

2 未来を創るための教育は供給する側を助けることから

昨今の教育への投資という言葉で使われるのは無償化に対する事が多いですが、教育を受ける側の支援は家計に対する支援であって、教育に対する支援とはなっていないと思います。未来を担う子供たちへの教育支援は質の高い教育を提供する事だと考えます。一方教育を与える側の先生は教育に専念できているでしょうか。教育以外の雑務に追われているという声を耳にする機会が非常に多いと感じます。こういった雑務から先生達を開放し、教育に専念してもらう環境作りに尽力します。

3 政治活動にお金をかけない

現在の政治不信の理由のひとつにお金の問題があります。政治にはお金がかかるというのが一般の認識のようですが、本当にそうでしょうか。特に地方政治における議員の役割である行政のチェック機能においては、お金をかけない政治活動は可能だと思います。コストパフォーマンスを考えお金をかけない政治活動を実施します。

政治に関心を持って選挙へ行こう

政治は我々の生活に非常に密着しています。何か買えば税金がかかりますが、これも政治。毎日歩く道、蛇口を捻って出る水も政治がからんでいます。このような政治に無関心のままで良いのでしょうか。もちろん政治を担う政治家への不信を払拭しなければならないのは言うまでもないですが、政治家を変えるためには国民/都民の皆さんが政治に関心を持つことも重要です。関心を持っている事を伝える最も効果的な方法が選挙に参加する事です。政治家の意識改革を促すためにも選挙に行って投票率を上げましょう。



再生の道公認
石田ゆたか